1602873HH3204

MITSUBISHI ELECTRIC

ハンドドライヤー **ジェットタオル**®用ヒータースタンド

形名

JP-310HS2-W 単相200V専用

据付工事説明書

販売店・工事店様用

このヒータースタンドはJT-WB220CS,DSシリーズ専用です。

■ 据付工事を始める前に必ずこの据付工事説明書をお読みになり、正しく安全に据付けてください。
- 据付工事は販売店様、または専門の工事店様が実施してください。
- 電気工事は第二種電気工事士が行ってください。

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡しください。

1.安全のために必ず守ること

●誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

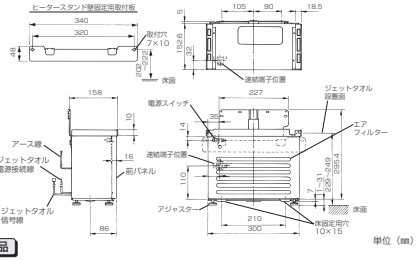
⚠警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

指示に従う	●単相200Vを使用する（間違った電源を使用すると火災、感電、故障の原因となります）	分解禁止	●改造や、必要以上の分解はしない（火災、感電、けがの原因となります）
	●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って確実に行い専用配線とする（誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります）	浴室取付禁止	●浴室などの湿気の多い場所や、結露する場所、直接水のかかる場所には据付けない（感電、故障の原因になります）
	●漏電しゃ断器を必ず取付ける（感電するおそれがあります） ※ 漏電しゃ断器推奨品（地絡保護用） 三菱電機製NV-G2N （単相2線式、定格電圧AC100-200V両用、定格電流30A、定格感度電流15mAタイプ）	水ぬれ禁止	●直接水のかかる場所には据付けない（感電や故障の原因となります）
		アース確認	●アース（D種接地工事）を確実に実施する（故障や漏電のときに感電するおそれがあります）

⚠注意 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	●ジェットタオルに通電した状態で据付工事をしない（感電するおそれがあります）	指示に従う	●据付工事は、十分強度のあるところを選んで確実に行う（転倒によりけがをするおそれがあります） ●据付けの際は手袋を着用する（着用しないとけがをするおそれがあります）

2.各部のなまえと外形寸法図



付属部品

アンカー	2個	（床固定用）
ボルト	2本	
ワッシャー	2個	
取付板	1個	（ヒータースタンド壁固定用）
取付板固定ネジ（5×30タッピング1種）	2本	
インシュロック	1個	
コードクリップ	3個	
ドレン水受け	1個	

クッションプレート……1個（ジェットタオル用）

4×14タッピング2種……6本
（●ジェットタオル固定用……4本
●コードクリップ固定用（ジェットタオル用）…2本）

4×8タッピング2種……2本
（●コードクリップ固定用（ヒータースタンド用）…1本
●アースコア固定用……1本）

3.据付条件

■ 据付場所が悪いと故障の原因になります。次のような場所には据付けないでください。
- 0℃未満になる場所
- 40℃以上になる場所
- 日光・強い光があたる場所（センサーが誤動作するおそれがあります）

■ 腐食性・中性・還元性ガスのあるところでは使用しないでください。
（機器の寿命が短くなったり、故障の原因になります）

■ 据付位置について
※ 本体側面は性能確保のため壁面から左側100㎜以上、右側150㎜以上離してください。
※ 床面からジェットタオル下面までの高さは229㎜～249㎜の範囲としてください。この範囲を越える場合は、床とヒータースタンドの間にスペーサーを入れてください。また、249㎜に満たない場合は、ジェットタオルの据付工事説明書に従って据付け直してください。
※ ヒータースタンドを床固定する場合、ジェットタオルを壁面に沿って設置する様にしてください。
（据付方法の**2.固定の準備　D部分**を参照してください）

建物の可燃物等からの離隔距離は下表に掲げる数値以上の距離を保ってください。

場所	離隔距離
上方	開放
左方	100
右方	150
前方	開放
後方	2
下方	0

単位（mm）

4.据付方法

このヒータースタンドはジェットタオルとともに据付工事を行います。
また、すでに据付けられているジェットタオル(単相200V仕様)と組合わせて据付けることもできます。

工事手順　新設の場合　F 既設の場合

1. ジェットタオルの準備

A
1. 前パネルの取りはずし
2. 取付板の取りはずし（新設の場合）
3. エアフィルターの取りはずし
4. クッションプレートの取付け
5. ドレンパイプ先端の固定
6. ヒータースタンド及びドレン水受けの固定

2. 固定の準備（いずれかを選ぶ）

- ジェットタオルを壁固定 B：1. 取付板の取付け
- ヒータースタンドを壁固定 C：1. ヒータースタンドに取付板固定　2. 水平出し　3. 下穴あけ
- ヒータースタンドを床固定 D：1. 水平出し　2. 内蔵物の取り出し　3. アンカーの埋込み

3. 電気工事

1. ジェットタオル電源接続線の接続
2. ジェットタオル信号線の接続
3. アース線の接続　4. 屋内配線の接続

E

4. 固　定

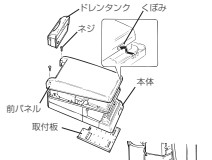
- ジェットタオル壁固定 B_1：1. 取付板に引掛けて固定
- ヒータースタンド壁固定 C_1：1. 取付板固定ネジで固定
- ヒータースタンド床固定 D_1：1. アンカーボルトの固定　2. 内蔵物の押し込み と固定　3. 保護ネットの取付け

1. ヒータースタンドの前パネル取付け
●エアフィルターを入れ忘れない
2. ジェットタオルの前パネルとドレンタンクの取付け

1. ジェットタオルの準備

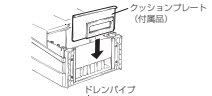
A

1. 本体背面にテープで固定してある取付板を取りはずす。(新設の場合)
2. ドレンタンクを取りはずす。
3. 前パネルを取りはずす。
   (1) ネジ(2本)をはずす。
   (2) 前パネルのくぼみ(3か所)を本体からはずす。



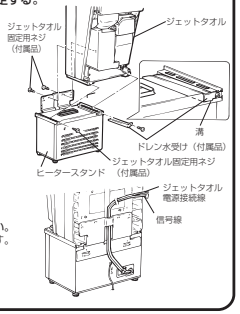
4. エアフィルターをはずす。
   (ヒータースタンドにエアフィルターがありますので、このエアフィルターは使用しません)

5. クッションプレートを取付ける。
   エアフィルターをはずしたところに付属のクッションプレートを奥まで確実に差し込む。
   ●差し込みが不完全なまま取付けると故障の原因になります。



6. ドレンパイプ先端を固定する。
   ドレンタンクを出し入れするとき、ゴムチューブがはずれないよう付属のインシュロックでゴムチューブを固定する。
   ●既にゴムチューブがインシュロックで固定してある場合は作業不要です。

7. ヒータースタンドにジェットタオルを固定する。
   (1) ジェットタオルをヒータースタンドの上にのせる。
   (2) 付属のドレン水受けを図のようにジェットタオルの溝に入れる。
   (3) ヒータースタンドから出ているジェットタオル電源接続線と信号線を、ヒータースタンドとジェットタオル背面の間に通す。
   (4) 付属のジェットタオル固定用ネジでジェットタオルを固定する。このとき、ドレン水受けも共締めする。
   ●ドレンタンクの抜き差しができることを確認してください。
   ●ジェットタオル電源接続線、信号線をはさみこまないように注意してください。

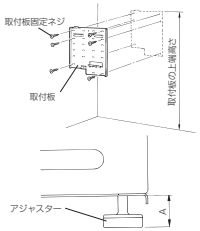


お願い ●ネジは強く締めすぎないでください。ネジ穴が破損するおそれがあります。

2. 固定の準備

B ジェットタオルを壁固定

1. ジェットタオルに付属の据付工事説明書を参照して取付板を固定する。
   ●床面と壁面(床から約1mの高さまで)の障害物がないか確認します。
2. 取付板の上端高さを測定して、その値から861㎜をひいた値(A)にアジャスターを調節する。
   〔取付板の上端高さ－861㎜＝A〕



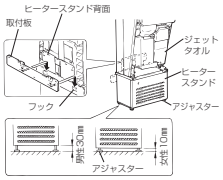
C ヒータースタンドを壁固定

1. 下表を参照し、アジャスターで高さを調節する。

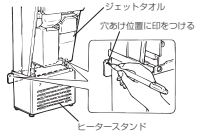
■アジャスター下面から底板までの高さ

男性用	30㎜
女性用	10㎜

2. ヒータースタンドの取付板をヒータースタンド背面のフックに引掛け、据付位置に置く。
3. ジェットタオルが壁と平行になるように、アジャスターで微調整を行う。

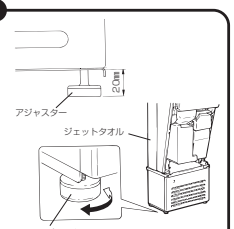


4. 穴あけ位置に印をつけ、下穴をあける。
   ●コンクリート壁に据付ける場合は、市販の金属製プラグ(カールプラグ等)を使用します。

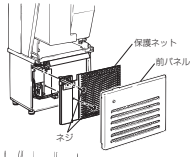


D ヒータースタンドを床固定

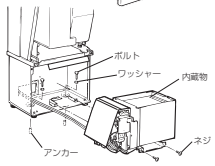
1. アジャスター下面から底板までの高さが20㎜となるようアジャスターを調節する。
2. ジェットタオルが壁と平行になるようにアジャスターの微調整を行う。



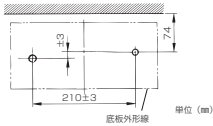
3. 内蔵物を取り出す。
   (1) 前パネルをはずす。
   ●側面を持って手前に引き、中央部の引掛部からはずす。
   (2) ネジ2本をはずして保護ネットを取りはずす。
   (3) 2本のネジをはずし、内蔵物を引き出す。



お願い
●はずしたネジ類等は固定するとき使用しますので無くさないでください。



4. 据付位置に合わせて床固定位置を決め、その位置にφ12.5㎜、有効深さ35～38㎜の下穴をあける。
   付属のアンカーを確実に打ち込む。
   ●アンカー埋込位置が不適切ですとジェットタオル背面と壁面とが平行になりません。



お願い
●床面にあけるアンカー用下穴の深さは必ず所定の深さとしてください。
(確実な固定ができず、倒れてけがをするおそれがあります)

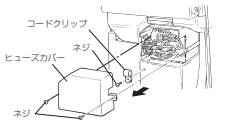
壁面からアンカー下穴位置までの距離は必ず上図の寸法以上とり、壁面に沿ってジェットタオルが設置される位置に設定してください。

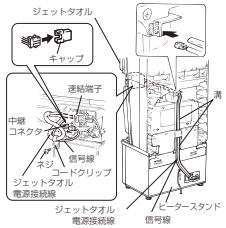
3. 電気工事

E

ジェットタオル電源接続線・信号線の接続

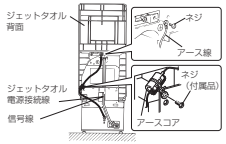
1. ヒューズカバーを取りはずす。
   - ネジをはずし、ヒューズカバーを手前に引き出す。
2. ヒューズカバーの左側にある、コードクリップを取りはずす。
3. ジェットタオル電源接続線と信号線を溝にはわせ、ジェットタオル本体内に引き込む。
4. ジェットタオル回路から出ている中継コネクタの先にかぶせてあるキャップをはずす。
5. ジェットタオル電源接続線を速結端子に接続し、信号線を中継コネクタ（4P）と接続する。
6. 壁固定の場合、2項ではずしたコードクリップとネジで元の位置に、ジェットタオル電源接続線と信号線をまとめて固定し、たるみをジェットタオル本体内に押し込む。
7. ジェットタオル電源接続線をヒューズカバー左側の切り欠き部に納め、ヒューズカバーをネジで元通り固定する。





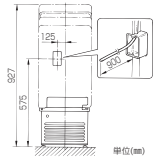
アース線の接続

1. ヒータースタンドから出ているアース線のコアを付属のアースコア固定用ネジで固定する。
   （アースコアがジェットタオル背面のくぼみに収まるように固定してください。）
2. ヒータースタンドから出ているアース線をジェットタオル背面のアースネジに接続する。

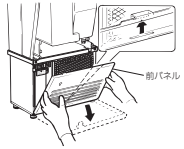


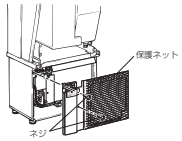
屋内配線の接続

1. 配線工事をする。
   （1）電源コードは単線φ2またはφ1.6のVVFケーブルを使用して配線する。
   （配線長さが11mを越える場合は、電圧降下を考慮してφ2の電源コードを使用してください）
   （2）右図の取付位置にスイッチボックス（JIS C8336 1個用スイッチボックスカバーなし）を埋め込み、電源コード（アース線付）を配線する。

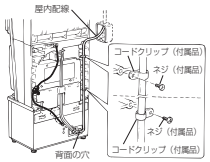


2. 前パネル・保護ネットをはずす。
   （壁固定の場合のみ）
   （1）前パネルは側面を持って手前に引いてはずす。
   （2）保護ネットのネジ2本をはずして取りはずす。





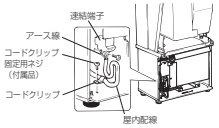
3. 屋内配線をヒータースタンドに引き込む。
   （1）ジェットタオルとヒータースタンドを壁に近づけて、屋内配線をジェットタオル本体の右側背面に付属のコードクリップとコードクリップ固定用ネジ（各2個）で固定する。
   （2）屋内配線（アース付）を背面の穴から引き込む。



4. 屋内配線を速結端子に結線し、アースはアース端子に接続する。

   床固定の場合はアンカーボルト固定終了後に行ってください。

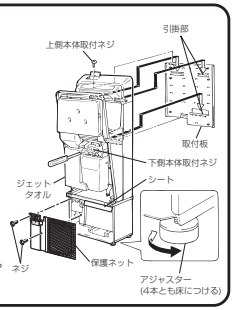
   - 速結端子への結線を軽く引っ張って確実に差し込まれているか確認する。
5. 屋内配線を付属のコードクリップとコードクリップ固定用ネジで底板に固定する。屋内配線のたるみを本体内に押し込む。



4. 固　定

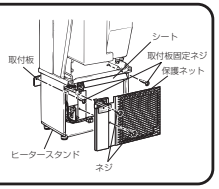
B1 ジェットタオル壁固定

1. ジェットタオルを取付板に引掛ける。
2. 本体を壁側に軽く押しつけながら付属の上側本体取付ネジ1本を固定する。
3. 下側本体取付ネジ(長ネジ)は、本体内の取付位置に仮固定されていますので取付板に締め付ける。
   - 取付板の下側引掛部がはずれていると下側本体取付ネジが締りません。
     下側引掛部を本体背面に確実に引掛けてください。
4. ヒータースタンドのアジャスターを回して4本とも床につける。
5. 保護ネットをネジ2本で元通り取付ける。
   - シートの上に取付けてください。



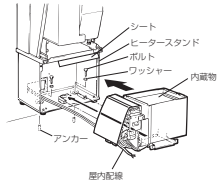
C1 ヒータースタンド壁固定

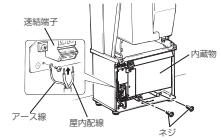
1. 付属の取付板固定ネジ2本で壁に固定する。
   （ジェットタオルが壁と平行にならない場合は、前側のアジャスターで調整し、平行になるようにします）
2. 保護ネットをネジ2本で元通り取付ける。
   - シートの上に取付けてください。

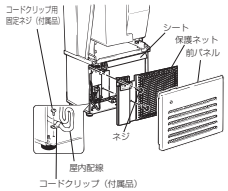


D1 ヒータースタンド床固定

1. アンカーの位置と取付穴位置を合わせ、付属のボルト・ワッシャー（各2個）でヒータースタンドを確実に固定する。
2. ジェットタオル電源接続線と信号線をジェットタオル本体の速結端子横に引き込みながら内蔵物を元通り押し込む。
   - このとき、ジェットタオル電源接続線と信号線を内蔵物ではさまないようにする。
   - 背面の穴から引き込まれている屋内配線を、コードブッシュにすべらせながら内蔵物を押し込む。
   - ヒータースタンド上部のシートをはさみ込まないように入れてください。
3. はずした2本のネジで内蔵物を固定する。
4. 屋内配線を速結端子に結線し、アース線は　アース端子に接続する。
   - 速結端子への結線を軽く引っ張って確実に差し込まれているか確認する。
5. **ジェットタオル電源接続線・信号線の接続** の2項ではずしたコードクリップとネジでジェットタオル電源接続線と信号線をまとめて元の位置に固定し、たるみをジェットタオル本体内に押し込む。
6. 屋内配線を付属のコードクリップとコードクリップ固定用ネジで底板に固定する。屋内配線のたるみを本体に押し込む。
7. 保護ネットをネジ2本で元通り取付ける。
   - シートの上に取付けてください。



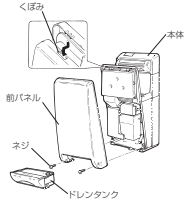




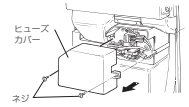
F 既設の場合 …ジェットタオルがすでに据付けられている場合

下記の要領で一旦取りはずし、ヒータースタンドとともに据付け直す。

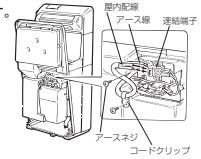
1. 電源をしゃ断する。
   - 分電盤のブレーカーを「切」にする。
2. 前パネルを取りはずす。
   （1）ドレンタンクを取りはずす。
   （2）ネジ(2本)をはずす。
   （3）前パネルのくぼみ(3か所)を本体からはずす。



3. ヒューズカバーを取りはずす。
   - ネジをはずしヒューズカバーを手前に引き出す。



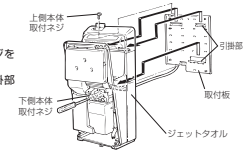
4. 速結端子に接続されている屋内配線をはずす。
   （1）速結端子のはずしボタン(黒色)をマイナスドライバーで押しながら屋内配線を引っ張ってはずす。
   （2）アース線をはずす。
   速結端子近くにあるアースネジをゆるめて、アース線をはずす。



5. ジェットタオルをはずす。

   ジェットタオル壁固定の場合

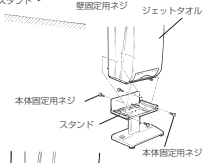
   ① 上側本体取付ネジと下側本体取付ネジをはずす。
   ② ジェットタオルを持って取付板の引掛部からはずす。



   ジェットタオルスタンドが壁固定の場合

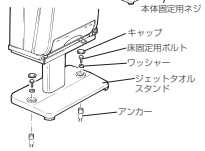
   ① スタンドを固定している壁固定用ネジ(2本)をはずす。

   ② ジェットタオルとスタンドを固定している前後のネジ各2本をはずす。
   ③ ジェットタオルをスタンドから降ろす。



   ジェットタオルスタンドが床固定の場合

   ① スタンドのキャップ(2個)をはずす。
   ② スタンドを固定している床固定用ボルト・ワッシャーを埋込まれているアンカーからはずす。
   ③ 上記の②・③同様ジェットタオルをスタンドからはずす。
   - 不安定ですから転倒にご注意ください。



5.試運転

据付工事が終わりましたら分電盤のブレーカーを「入」にし、その後次の確認を行ってください。
- 試運転は部屋の換気をしながら行ってください。

① ヒータースタンドの電源スイッチを「入」にし、通電ランプが点灯することを確認する。
② ジェットタオルの電源スイッチを「入」にし、約5分後、手を入れて暖かい風がでることを確認する。

初期運転時、ジェットタオルの温風吹出口から煙やにおいが出ることがありますが、ヒーターに付着した油やほこりが焼けるためで異常ではありません。

③ ジェットタオル・ヒータースタンドとも据付けが確実で振動・異常音がないことを確認する。

6.お客様への説明

付属の取扱説明書にもとづいて、正しい使いかたをお客様に説明してください。
とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重大な注意事項を記載していますので、必ず守るよう説明してください。
- この据付工事説明書は、据付け後付属の取扱説明書および保証書とともに必ずお客様にお渡しください。

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508－8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。